

五月の季節感がお題とはなっているものの . . .

「八十八夜」を皮切りに「端午の節句」「立夏」「小満」へと季節がうつろう。つつじや藤の花が、ゴールデンウィークを待たずに早々と散りだして、カキツバタやあやめまでもが次から次へと咲き誇る。さらには、紫陽花までもがこの時期にありながら咲き始めている場所も散見される。先日のテレビで、名古屋城近隣で蛍の群生が見られているとの報道があったことにも驚かされている。沖縄地方が時すでに梅雨入りしたことを考えれば、「走り梅雨」がきても不思議ではない。今年は何もかもが早まっているように感じられる。世間ばかりでなく、季節感までもがせかせかしないでもいいのに、と思っているのは私だけではないでしょう . . . 。爽やかな五月をゆっくりと堪能したいもの。

